

燃料研究棟汚染事故に係る対応（週報9/25～10/1）

概況

- 9/25-10/1に実施した、主な対応等は以下のとおりです。
- ・ 9/29に法令報告書（第3報）を提出しました。
 - ・ 108号室（事故発生場所）の除染作業等を実施しています。

現場復旧

- 108号室（事故発生場所）の現場復旧に向けた措置
 - ・ 壁・天井面、実験用作業台、排気系配管、フード等の汚染検査・除染作業を終え、残るグローブボックス2基の汚染検査・除染に着手しました。
- ※ 作業内容の詳細は、
[-108号室の汚染検査・除染作業（変更版）](#)
をご参照ください。

その他

- 9/25から量研放医研に入院していた作業員1名は、キレート剤による継続的な治療を予定どおりに終え、9/29に退院しました。
- 外部対応
 - ・ 事故の原因究明、被ばく評価、要因分析と再発防止対策の立案等を取りまとめた法令報告書（第3報）を原子力規制委員会に提出しました。
 - ・ 原子力規制庁と定例面談等を行い、以下の事項等について説明しました。
 - 前日の作業実績と当日の予定について（9/25～27、29）
- ※ 原子力規制庁との面談内容の詳細は、
[-原子力規制庁への提出資料](#)
をご参照ください。
- 次回の週報は、10月10日（火）に発行いたします。

以上